

平成25年度御殿場市環境マネジメントシステム 取組結果報告書

御殿場市では、平成21年度より御殿場市環境マネジメントシステム（EMS）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

○平成25年度実績

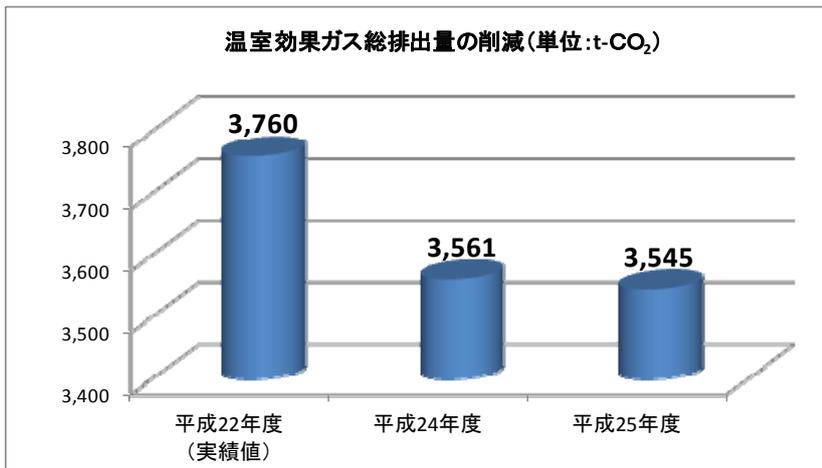
環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標値	平成24年度実績値	平成25年度実績値
省エネルギー・省資源の推進	温室効果ガス総排出量の削減	排出量 (t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績3,760 t	平成28年度までに 3,572.0t (△5.0%)	3,561t 3,545t (△5.7%)
	電気及びその他の燃料 (A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)使用量の削減	排出量 (t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績3,498 t	平成28年度までに 3,323.0 t (△5.0%)	3,292 t 3,289 t (△6.0%)
	公用車燃料使用量の削減 (走行距離を含む)	排出量 (t) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績262 t	平成28年度までに 249.0t (△5.0%)	269t 256t (△2.2%)
	紙使用量の削減	紙使用量 (kg)	平成28年度までに 103,962kg以下 (基準年度[H22])	105,117kg 109,548kg (5.4%)
	水使用量の削減	水使用量 (m ³)	平成28年度までに 169,080m ³ 以下 (基準年度[H22])	156,320m ³ 148,497m ³ (△12.2%)
廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減	排出量(kg) (基準年度[H22]比) ※平成22年度実績 132,465kg	平成28年度までに 125,800kg (△5.0%)	141,309kg 137,909kg (4.1%)
グリーン購入の推進		環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入	適合率70%以上	76.9% 78.3%

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

紙使用量（基準年度より5.4%増）、可燃ごみ排出量（基準年度より4.1%増）は、削減に向け一層の取り組みが必要となります。

1 省エネルギー・省資源の推進

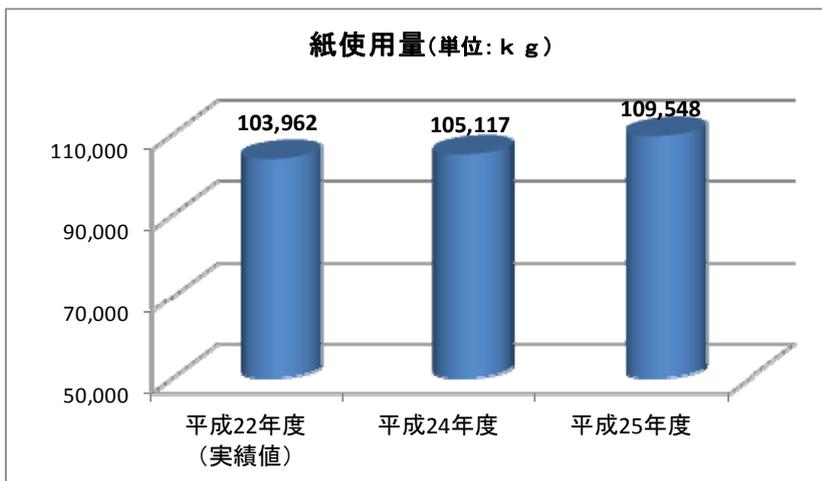
(1) 温室効果ガス総排出量の削減



温室効果ガス総排出量は、基準年度（平成 22 年度）と比較すると 215 t - CO₂ (5.7%) 減少しており、取組目標が達成された。

また、平成 24 年度と比較しても 16 t - CO₂ (0.4%) の削減が図られた。

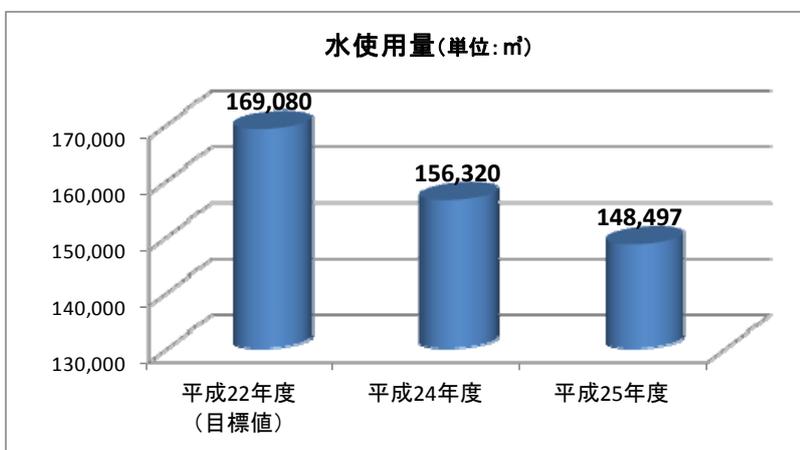
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、基準年度（平成 22 年度）比で、5,586kg (5.4%) の増加、前年度比では 4,431kg (4.2%) の増加となった。

経費削減に伴い外注委託から庁内印刷に随時切替えられ、また印刷部数の増加したことにより増加傾向にある。印刷室の適切な使用や紙使用における、職員への意識改革が必要である。

(3) 水使用量の削減

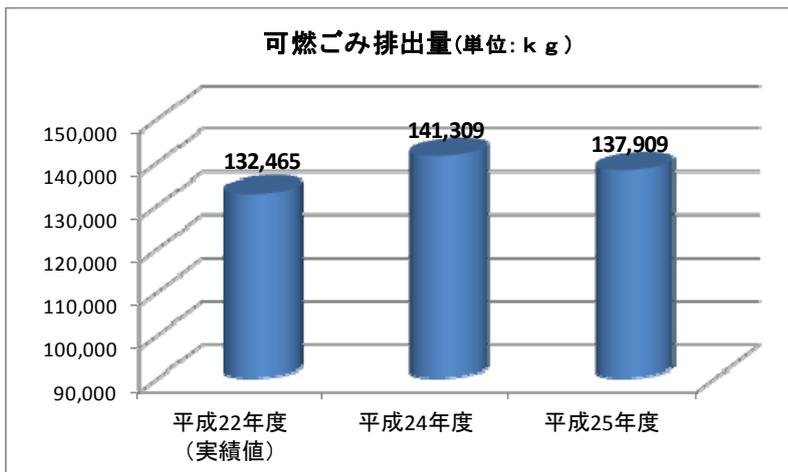


水使用量は、基準年（平成 22 年度）と比較すると 20,583 m³ (12.2%) 減少し、前年度比では 7,823 m³ (5.0%) の減少となった。

施設により増減はあるが、節水・漏水対策等の積極的な取り組みにより全体での使用量の削減が図られて

2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

可燃ごみ排出量の削減

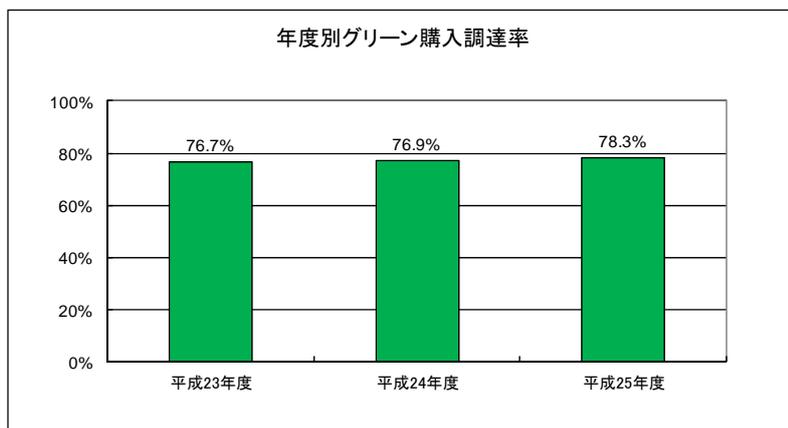


可燃ごみ排出量は、基準年比で5,444kg (4.1%) 増加したが、前年度比では3,400kg (2.4%) 削減された。

前年度の反省点を活かし、エコオフィスサポーター研修時に分別見直しを指示した。

分別の徹底を図るため、全職員の意識改善が必要である。

3. グリーン購入の推進



適合品調達率 78.3%、非適合品調達率 21.7%となり、目標値である適合率 70%を達成しています。